



# REPORT TO PARTNERS

レポート to パートナース

2023 OCTOBER・NOVEMBER

長野市芸術館 協賛パートナー 報告書

2023年10月・11月の取り組み

長野市芸術館は、協賛パートナー企業の皆様へ、私たちの取り組みやニュースをお伝えするため、この「レポート to パートナース」を発行しています。皆様のご支援のもと、市民をはじめとする多くのお客様に文化芸術の鑑賞や体験をしていただき、豊かな文化力を育むべく、文化芸術の振興を行ってまいります。

## Event Report 主催公演事業

来場者の年代・アンケートの声は、各公演毎のアンケート結果より

### 小林研一郎 × 木嶋真優 × 読売日本交響楽団

10月7日(土) / メインホール

出演：小林研一郎（指揮）木嶋真優（ヴァイオリン）読売日本交響楽団

「炎のコバケン」こと指揮者、小林研一郎、実力派ヴァイオリニスト木嶋真優、日本を代表するオーケストラ・読響による豪華なオーケストラ・コンサート。哀愁漂うメンデルスゾーンヴァイオリン協奏曲と当館のこけら落としでも演奏されたチャイコフスキーの交響曲第5番が、圧倒的な迫力で響きました。アンコールは、「戦争で亡くなった人を偲んで」と《ダニーボーイ》。穏やかながら強い思いを感じさせる演奏が感動を呼びました。

入場者数 | 1025人

年齢別 | 60・70代各27% 50代23% 40代7% 20代5%  
30代4% 15～19歳2% 10～14歳1% 9歳以下1%

#### アンケートの声

♪物音ひとつしない中で響き渡るヴァイオリンの音に魅了されました。指揮者の人間性があらわれた、とても良い演奏でした。♪充実した素晴らしい音色で、ソロのヴァイオリンもテクニックが素晴らしくて、うっとり。コバケンさんも、お年を感じさせず、円熟の指揮だった。♪木嶋さんの抜群の上手さに度肝を抜かれました。♪ヴァイオリンのテクニックと、読響の弦が次第に交わって高まる様は感動しました。



### 金曜よるのクラシック・リサイタルシリーズ vol.10 金子三勇士 ピアノ・リサイタル

11月24日(金) / リサイタルホール

週末の夜に気軽にお楽しみいただく「金クラ」の今年度初回。クラフトビール、竜眼ワイン、平野珈琲、ひょう害にあたりんごジュースなどこだわりのウェルカムドリンクでゆったり開演をお待ちいただきました。金子さんの演奏は時に力強く、またあたたかく、様々な表情を見せてくれます。《フロイデ!～交響曲第9番 二短調 Op.125《合唱》から第4楽章～》は、長野市芸術館オリジナル即興バージョン。気迫に満ちた圧巻の演奏に大喝采でした。

入場者数 | 269人

年齢別 | 60代34% 50代29% 70代以上16% 40代9%  
20代4% 10代4% 30代2%

#### アンケートの声

♪心にせまる迫力のピアノの音色は衝撃的でした。トークも抜群!次回も行きたい。♪リストに対する深い思いを感じる演奏でした。♪ショパンの《革命のエチュード》が聴きたかったのと、他も全て知っている曲ばかりですごく楽しく、ピアノってこんなにすごいんだと感動しました。♪ベートーヴェンの《月光》は、いつも聴いている曲のイメージと全然違う曲に感心しました。



水曜ひるまのクラシック・リサイタルシリーズ vol.42  
高木綾子フルート・リサイタル

10月18日(水) / リサイタルホール

出演：高木綾子（フルート）、坂野伊都子（ピアノ）

高木綾子さんは、2年前の「金曜よるのクラシック・リサイタルシリーズ」に続き、当館2回目の登場です。プログラムは全編にわたって長野をイメージした作品で構成。高校時代に出会い当日も使用した愛器は「泥臭さや毒々しさなど、優雅なだけでない音も出せる」ということ。この日も美しくかつ力強いフルートの豊かな表現をたっぷりお楽しみいただきました。

入場者数 | 262人

年齢別 | 70代以上34% 60代31% 50代22% 40代6%  
30代1% 20代1%

アンケートの声

♪力強い音色と目をみはるような技巧は忘れられません。特に、林光の《フルート・ソナタ》は、フルートでこんなにも激しい演奏ができるのかと驚きました。充実したリサイタルをありがとうございました。♪表情が豊かで魅了されました。低音が豊かでステキでした。♪フルートの表現の奥深さを堪能させてもらいました。坂野さんのピアノ上手い!!



水曜ひるまのクラシック・リサイタルシリーズ vol.43  
阪田知樹 ピアノ・リサイタル

11月15日(水) / リサイタルホール

出演：阪田知樹（ピアノ）

「作品は、作家の感情の結晶、思想の結晶だと思う」という阪田さんは、文学にも造詣が深いピアニストです。当時の文学作品とのつながりを持つリスト：巡礼の年第1年「スイス」の第6曲《オーベルマンの谷》や、シューマンの《クライスレリアーナ》では、そんなバックボーンを感じさせます。深い解釈と豊かな表現で魅了しました。

入場者数 | 267人

年齢別 | 60代45% 70代以上24% 50代20%  
40代5% 30代1%

アンケートの声

♪一台のピアノからこんなにも多彩な音色、音楽が奏でられるのかと感動しています。お話も大変興味深く、知識の豊富さとそれに裏付けられた解釈の深さも大きな魅力でした。♪曲の背景等、解説していただけてなるほどと思える部分が多かったです。オーベルマンの作品の内容も聞くことができ嬉しかったです。阪田さんの人柄がトークの中にもにじみ出ていてファンになりました。



加藤昌則のぶっとび!クラシック

作曲家編【バッハ】(2時間目・3時間目)

10月25日(水)・11月22日(水) / リサイタルホール

出演：加藤昌則（作曲家・ピアニスト）

自身の子どもたちも音楽史に名を刻む音楽家となった J.S. バッハ。2時間目は、そんなバッハの「教育パパ」の一面と、それぞれの個性が光る子どもたちの作品をご紹介。また、3時間目はバッハの没後、初演から100年後にメンデルスゾーンによって発見された《マタイ受難曲》を加藤さんの実況つきで聴きながら、バッハの音楽に仕掛けられた職人技を解き明かしました。

入場者数 | 166人(2時間目) 159人(3時間目)

年齢別 | 60代40% 50代22% 70代以上16% 40代9%  
30代3% 15~19歳3% 10~14歳1%

アンケートの声

♪とても分かりやすかったです。劇をまじえたところがとくに理解しやすかったです。子供に対しても、300年前とは思えない身近で温かく熱心なバッハを感じられました。息子たちにも興味もてました。♪「マタイ受難曲」はただ単に「教会用の曲」としか思っていなかったのが、曲の説明と実況のおかげで「キリストの運命やいかに!?!」とドキドキしながら聴けた。♪未知の世界への扉が開けた気がします。これからは、その音がどのような役割を果たしているのか意識しながら聴いてみようと思います。



## ランチタイム・ピアノ・コンサート

出演：青木かおり

10月6日 金 / メインホール

プログラム前半はショパンの作品を、そして後半はオーケストラ編曲版でもおなじみのムソルグスキー《展覧会の絵》からの6曲。優美なワルツ、力強いポロネーズ、さまざまな「絵」は時に軽快に、時に堂々とした響きで、ピアノの様々な表情をお楽しみいただきました。

入場者数 | 350人



## 市役所ロビー・コンサート

出演：さくまひでき (シンガーソングライター)

11月10日 金 / メインホールホワイエ

長野県が大好きというさくまさんの歌は優しい歌声と心にしみるメッセージが持ち味です。コンサートの後半には曲に合わせた振り付けなどもレクチャーし、会場全体が一体となって手を揺らす場面も。明るく爽やかな笑顔があふれるコンサートとなりました。

入場者数 | 92人



## 長野市芸術館オープンハウス Day-1

出演：アニージョ・ブランコ (ケーナ演奏)  
ベリーダンス長野 Infinity∞ (ベリーダンス)  
Tomo and Friends (ウクレレ演奏)  
team Acorn (ダンスパフォーマンス)  
N サバイバルシアター (演劇)  
ホクレアメイツ リリア (ハワイアンフラ)  
アクターズスタジオ長野 (ダンス、歌&モデルウォーキング)

11月4日 土 / アクトスペース

長野市芸術館の練習施設で日頃腕を磨く皆様に、ステージでその成果を披露いただくのが「オープンハウス」。当館の技術スタッフも関わり舞台づくりをサポートします。Day-1 はダンスや民族楽器、演劇などの団体がアクトスペースに登場しました。幅広い年代による多彩なパフォーマンスは、短い時間ながら本格的なステージ。場内も大いに盛り上がりました。

入場者数 | 150人



## お届け芸術館 10月19日(木) / 若槻養護学校

出演：宮下静香 (チェンバロ)

小学生から高校生まで、そして隣の東長野病院に入院している「のぞみ部」の生徒の皆さんにはリモートでお届けしました。宮下静香さんは、バッハの姿で登場です。音楽の中に鳥の声を探したり、見慣れないチェンバロの仕組みやピアノとの音色の違いを味わったりしました。

入場者数 | 52名



## お届け芸術館 10月21日(土) / 七二会中学校 (七二会公民館主催)

出演：汐入規予 (ヴォーカル)、新村邦明 (ピアノ/キーボード)

ピアノ/キーボードの新村邦明さんは七二会在住、ヴォーカルの汐入規予さんもそのつながりで思いがある七二会中学校。プログラムは《枯葉》《愛の讃歌》などのシャンソン、映画音楽《ムーン・リバー》など。七二会の皆さまへの恩返しのように、あたたかく優しく、そしてボリュームたっぷり。

入場者数 | 65人



## お届け芸術館 10月27日(金) / 小田切交流センター

出演：渡辺幸絵 (フルート)、竹内遥香 (ハープ)

フルートとハープの優雅な音色で楽しむクラシックの名曲はもちろん、日本の名曲や日本民謡に題材を得た作品ではこの2つの楽器が和の響きを奏でることに驚きます。続けて世界の民謡メドレーで世界各国の民謡のリズムや響きも楽しめる、バラエティ豊かなコンサートとなりました。

入場者数 | 78人



## お届け芸術館 11月1日(水) / 信州大学教育学部附属特別支援学校

出演：田中美恵子 (ヴァイオリン/ヴィオラ)、高久史子 (ピアノ)

小学生から高校生までの全校集会の後で行われたコンサート。リズムに合わせて体を揺らしたり、《パブリカ》では踊りだしたりと、音楽を全身で、自由に楽しむ皆さんとの楽しいひと時となりました。ホルストの《木星》では、田中さんはヴィオラに持ち替え、豊かな響きを奏でました。

入場者数 | 90人



## お届け芸術館 11月3日(金) / 鬼無里公民館

出演：たかがわいづみ (マリンバ)、若麻績のぞみ (ピアノ)

第50回鬼無里文化芸術祭と同日に開催されたコンサート。はじけるように軽やかなリズム、ゆったりと柔らかな響き、ドラマティックなピアノとの掛け合いなど、表情豊かな音楽を楽しんでいただきました。懐かしい唱歌のメロディがちりばめられた作品も交え、温かい雰囲気の一と時となりました。

入場者数 | 約130人



## お届け芸術館 11月9日(木) / 更北公民館

出演：汐入規予 (ヴォーカル・キーボード)、山田和矢 (ドラムス)

パワフルでありながら柔らかさもある汐入さんの弾き語りと、ジャジーで緩急が心地良い山田さんのドラムのアンサンブルをたっぷり味わえるコンサートとなりました。とくに、反戦歌である《愛しかない時》では、汐入さんの熱い気持ちがこもった歌声に、涙を流す方もおられました。

入場者数 | 90名



## お届け芸術館 11月29日(水) / 長野養護学校高等部

出演：たかがわいづみ (マリンバ/スティールパン)、西村夏葵 (ピアノ)

木製の鍵盤が並ぶマリンバと、ドラム缶からできたスティールパン。姿も音色も全く違えど、どちらも叩いて音を出す打楽器です。この日はこれらの打楽器とピアノに、みんなが手をたたき音も交えたにぎやかな演奏も。打楽器の面白さをたっぷり楽しんでいただきました。

入場者数 | 117人



PICK UP 1

## 長野県出身の若手奏者

NAGANO12 訪問コンサート

長野県出身の12名の若手奏者による小編成吹奏楽団 NAGANO12 (ナガノトゥエルブ) が訪問コンサートを行いました。会場は10月11日(水) 柳町中学校、東北中学校、10月12日(木) 川中島公民館、篠ノ井交流センターの4か所。指揮とソロはサクソフォニスト須川展也さん。スーザのマーチや「サウンド・オブ・ミュージック」のメドレー、ラヴェル《ボレロ》、ラテンナンバーなどを奏でました。中学校では吹奏楽部の生徒と人気曲《宝島》を共演したり、公民館では手拍子で盛り上がりたりと、リラックスしたコンサートとなりました。NAGANO12も出演する「須川展也プロデュース 長野市芸術館プラス・フェスティバル」は2024年3月24日(日)にメインホールで開催予定です。



PICK UP 2

加藤昌則のぶっとび!  
クラシック in 裾花中学校

11月21日裾花中学校にて、人気講座「加藤昌則のぶっとび!クラシック」が裾花中学校に出張し、全校生徒約600人におなじみのトークと演奏でクラシックの面白さをレクチャーしました。前半は、バッハ、モーツァルト、ベートーヴェンをそれぞれご紹介。後半は、ドビュッシーと加藤さんお得意の即興作曲・演奏も!各学年から1人ずつ、3人の生徒の皆さんに選んでいただいた音を使って目の前で作った曲をピアノで披露しました。最後は加藤さんの自作《トッカータ》。ピアノを弾く手元をスクリーンに投影すると、その超絶速弾きの手の動きに会場中が大喝采。

「ぶっとび~~~~!!」

SUPPORTED BY

2023

GOLD PARTNERS



SILVER PARTNERS



# BRONZE PARTNERS

